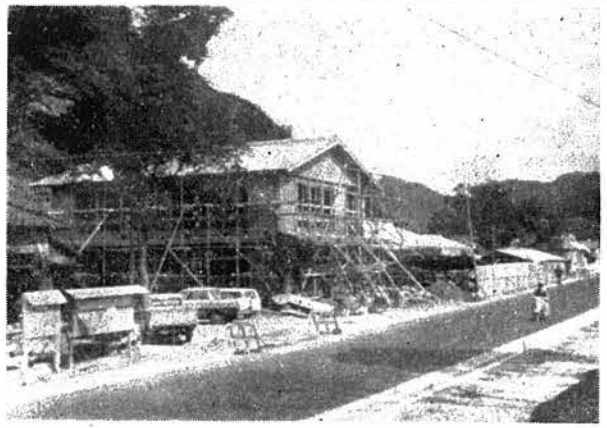
津奈木

蘇峰九十二

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）代表 3118番

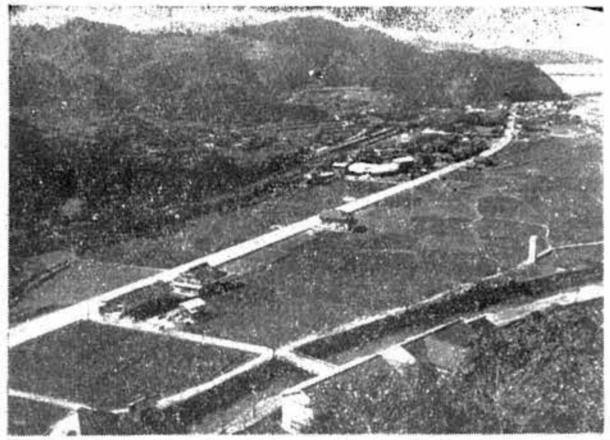
生れかわる津奈木

津奈木は変る！
津奈木は進む！
津奈木は成長する！



公民館が完成したら、ああもしたいこうもしたいというのが町民の心持、約束は三月二十五日となっている。今は夜業までして完成をいそいでいる。

今年は特に甘夏柑が落ちたという。もてあましていたところ誰が考え出したか、新国道の千代塚附近で売りだしたら、うまいといって飛ぶように売れる。農家救済の新商売



新国道は津奈木町に何を与えようとするのか、それは津奈木町民の受け方によっていかようにもなろう。この新国道をいかに善用するかは本町に課せられた重要な課題だろう。

ぞくぞく竣工!!

町長　斉藤亀齢

町の大事業として取りくんできた津奈木干拓、農業改善事業、公民館新築等、実に順調に進捗ぶりを見せ、いよいよ完成も近づいたので左に其の大要をお知らせします。

津奈木干拓汐止工事

昭和三十一年から着工され前村長が「命にかけて」と歴代村長の実現出来なかったものを世紀の大事業として決行されたのであるが、町財政窮迫の中を、国県の並々ならぬ御配慮の下に工事は順調に運び、三月二十三日午前五時から汐止工事が行われる事になったのである。

当日は県知事初め多数来賓御参集の上、現場で式が行われ、現代土木の花と謳われる汐止作業が初まる。

皆さんと共に喜びを別ち合いたい

総工費三億九千万円

農業改善事業の実施

従来の農業構造を近代化しようとする画期的な大事業であって、県内多数の希望町村の中から特に選ばれて本年度から実施期に入っている事は、御承知の通りである

実施地域では非常な熱意を以て取りくまれ、四地区共土地整備が進み特に清水地区に於ては植栽の域まで達している。そこで皆さんにお願いする事は、第二次指定を受けるために、小さな個人感情や個人利益を捨てて第一次事業を見事に完遂していただきたいことである。

総工費五千七百万円
三十九年度工費千六百万円

公民館新築落成

一級国道三号線が通ったのを機会に、古くて危険な公民館の新築にふみ切った。経費の捻出に苦労したが、田中県会副議長、福永、沢田両代議士等の御援助により、起債六百万円（普通は三百万円）と言う多額の融資を受け、茲に現代建築の粋をこらした津奈木公民館が誕生する事になったのである竣工は今月末だから四月からは大いに活用出来る事になる。

総工費千百万円自己財源三百万

昭和四十年度
町民税県民税の申告について

いよいよ町民税県民税の申告時期になりました。申告書の様式は昨年とほとんど変ったところはありませんが、課税の方法が一部改正される見込みです。

申告書を提出しなければならない人は、三十九年中に所得があった人で、申告期限までに提出がなかった場合は、いろいろの控除が認められません、したがっ税金を納めなければならないとになりますから御注意下さい。

申告書の書き方については説明書をよくよんで誤りのないようにして下さい。

申告期限
三月二十日まで

税務課

キングサイズの鏡
二等の平国小学校

日曜毎にPKKでは「日曜教室」を開いているが、平国小学校も去る一月十七日に出て、二十八点（三十点満点）をとり、同校に希望と自信をあたえた。

佐賀、熊本両県にわたって、五校をえらんで一組とし、一日曜に一校が出演する。何れの学校にも三十点満点の問題を出し、五校中最高の成績をとった学校にテレビ一台を賞として贈ることになっている。平国校はおしくも第二位になったがそれでもすばらしく大きい鏡をもらった。（横一米たて一米六〇）先生方の努力の記念として永く残るだろう。

この次はテレビと平国校では張り切っている。

出席者
三年　浜田しのぶ
四年　篠原善人
五年　吉野晋介
六年　浜田すみえ
引率　谷口教諭

写真たより　浜田しのぶ　篠原善人
吉野晋介　浜田みすえ　後は福島校長

駅長こうてつ

新駅長　片山孝夫
前駅長　蓑田政彦
小川駅長へ

歳末助け合い運動
善意の寄附

年末各家庭では支払いの多い中に、大変ご協力を戴きましたので二七、三九〇円が集りました。

当町から各病院に入院している人のうち、費用全部を国から受けている人および、老人ホームに入っている人の六一人の方へ、四〇〇円づゝ町長が直接手渡し、遠隔地の人へは、郵送しました。

二五、九八二円が支出で、一、四八〇円残りました。

熊本県盲人協会へ、この残金と町社協から少し加へ、それに婦人会からも一、五〇〇円加へて、三、〇〇〇円として、送金し感謝されています。

一、水俣市小ケ倉醤油から、一、八立入の醤油を八〇本、困っておられる家庭へ

一、水俣ライオンズクラブから、リンゴ、菓子、砂糖等二七種類の日用食品が、老人で困っておられる一四家庭へ、夫々昨年末に贈られた。

一、浜崎の大園一馬氏が一万円を、又大泊の山口勝郎氏は遺失物が無事戻ったので、その善意に感謝する意志で一千円を夫々福祉のために役立てるように、津奈木町社会福祉協議会（町役場内）へ寄附されました。

後悔先にたたず
国民年金

あなたは国民年金に加入しておられますか。

国民年金制度ができてから今年で五年になりますが、まだ国民年金に加入していない方はありませんか。国民年金は六十五才になりますと老令年金、けがをして働くことが出来なくなったときは障害年金、主人が亡くなられ子供を養なっておられる時は母子年金とそれぞれ年金がもらえます。もし加入しておられないときは、これらの年金は全くもらえません。明治四十四年四月一日以降に生れらた方は、現在七〇才以上の方がもらっておられる老令福祉年金も、もらえなくなりますので、必ず国民年金に加入しましょう。国民年金は自分のしあわせを自分の力で築くものです。

しかし現在会社や工場官庁等で厚生年金や共済掛金を納めている人は加入出来ません。が、その人達の奥さん方や恩給や年金を現在もらっている人やもらう権利を持っている人は任意加入が出来ます。それ以外の人は必らず加入しなければなりません。まだ加入していない人はすぐ役場国民年金係へ届出て下さい。

そうして将来津奈木町民の方々は一人残らず恩給か年金をもらうことが出来て安心して老後を楽しくしようではありませんか。

テレビに振り廻されるな
本を読もう

テレビを見ることはたしかにためになる。子供も大人もたしかにしかし、ためになるものだけをせんたくして見る人は甚だ少ないのではなかろうか。多くの人は、娯楽ものは別として、普通出てくるものをノベツに見て、時のすぎるのを忘れるのではなかろうか。

つまり、自分の自主性、あるいは自分の生活をテレビにふり廻されているのである。「テレビは国民を馬鹿にしてしまう」といわれるが、その辺をさしていうのだろう。人間が機械に使われないように、人間はテレビの召使いにならないようにつとめるべきである。つまり考えてテレビは見るべきである。せんたくしてテレビを見る態度ができると、時間に余ゆうが出来るので、新聞、雑誌、書籍など読めるようになる。自分にプラスするものの最たるものは本である。そこで「本を読む」ことを提唱する。

公民館が出来上ると立派な図書室ができる。今でも三千冊ばかりの本がある。なお県の図書館からも毎月新しい本を貸してくれる。グループ作って読もう。日に新に日に進もう。本を読もう。

町章ご応募の方に

津奈木町章を公民館の新年号で募集したら、熊日紙西日本紙にものせていただいたので水俣市や芦北郡内はもちろん、菊池天草郡あたりからまでご応募下さって三十五点ばかり集まりました。両新聞社や、ご応募の方々に厚くお礼申し上げます。

作品は公民館運営審議委員で一応の審査は終りましたが、町議会にかけてレツキとした町章にしたいと思っていますので、町議会のある三月下旬までお待ち下さい正式発表は議会終了後にいたします。お礼かたがたお知らせいたします。

保育園へ寄贈

今回古川野島正行氏より、津奈木町立保育園に鉄柱ブランコ五人乗一台を寄贈された。

さきにも四段式鉄棒の高価品を寄贈されていたが、重ねてのこの寄贈に、町当局や園児家庭から深く感謝されている。

編集後記

大分春らしくなりました。やはり寒さにふるえている冬より、花咲くうららかな春の方がうれしいものです。

津奈木も大分変わりました。でこぼこの道、ドブの道、ゴミの舞う道が、光る道になったことは一大変化であります。

清水地区は山の頂上まで開こんされているのは偉観であります。琴平、ヒバリ、川南地区などは、農道が縦横に作られていておどろきです。

さて町民のみなさんが読んでくださる新聞をつくることを念願して努力しているのですが、なかなか思うとおりのものができません

そこでみなさんのご加勢をお願いします。それには先ず原稿をお寄せ下さい。今回は宮崎俊さんが注目すべき記事を投稿して紙面に光りを与えて下さったことを感謝します。

次は五月一日号を出しますので四月二十日頃まで公民館までお送り下さい。

なお、公民館報にお気づきのことは大小となくお聞かせ願います。

自覚高めた成人式

感激の成人式

今までのやり方と違って十四日の夕方から集まった主催者としては集まってくれるかが一番の心がかりであった。ところが特別の差支えのない人は全部出席。

キャンドルサービスのこうごうしさ。余興の面白かったことは一生涯忘れ得ないことだろう。

床についてからの学校時代の思い出話や卒業以来のつもる話で時間のたつのも忘れた。

朝のご飯やお汁たき、たのしい食事、神前でのおごそかな式、婦人会のお心づくしのお祝の食卓、そしてユーモアたっぷりの自己紹介、最後の清掃、すべてにわたって立派であった。小中学校長も口をそろえてはめていられた。

行動がりっぱであったように、服装も質素であった。

なお、成人者の申し合せで母校に記念樹をのこそうと金を出しあわせ、三千円を中学校長に預けた。

成人式を迎えて

実践したいこと　とうとう成人式を迎えてしまった二十才を迎えたことを、人生における一大事でこの義意を決して小さく考えてはならないと思い、法律上の権利義務だけでなく心身共に一人前の社会人となったことを認識し、自己に責任と自覚を持ち今後の自己の方針と実践したいことを真剣に机上で考えた。

第一　自分自身が自己をみつめ自覚し、道徳的責任又人類に対する責任が持てる人間になりたい。

第二　自分に誠実であり又忠実でありたい。

第三　生きることに感謝し、行く手に希望と自信を持ち、今日の我々はまだ進歩の途上にあり、目的に沿って生きて行くものと考える。

登山する心　これらを克服し、実行することは困難である。が、困難でも努力と忍耐で実現出来ると私は自信を持つ。人生の進む道も登山する道も同一の「みち」と言ってよい。この障害物を除去し、迂回しても通りぬく自信と勇気を持ち、目的達成又頂上征服によって、人間が出来て来る。ここに始めて人生における喜怒哀楽が味えるのだと考える。

公明選挙の実現　私は初の有権者となり「権利義務を有する者」という事に一点不安と、責任の重大さを感じる。現に民主政治の下に、公明選挙が叫び続けられているが、依然として腐敗選挙ははびこり、マスコミを賑わせる。こういう無責任な大人の二の舞を私は絶対したくない。ここで私は自己を自覚し責任の持てる人間となり、誠実さを忘れず、希望と自信を持って大人の仲間入りをしたい。私は公明選挙が公正に実行されないのも、有権者に良識又自主性がないこと。「一票」がどれ程町村の為、あるいは国家大きくは世界の為になる事を認識せず、ただ私的感情にかられ投票する人間が多い事にあると思う。私達新有権者が買収その他社会悪によって左右されてもいゝものだろうか？私は確固たる信念を持ち「一票の力」の大きいことを自覚し、行く手に希望と自信を持ち自己に道徳的責任が持てる人間でありたいと願う。

世界人類に貢献　いやこのことを実現し、今後の日本を背負う私達若人は、豊かな住みよい郷土を建設し、平和な日本を[illegible]界人類の繁栄に貢献できる人間になりたい。

米田富美子

（神前のちかい）

（15日朝の炊さん）

けがれない一票

津奈木小児童会役員選挙

来年度児童会役員の立候補者の演説と、責任者の推せん演説は終わった。総勢三十名。一人の持ち時間、わずか二分ではあったが、その内容に学校生活をより向上させたいという意欲がうかがわれ、力強いものを感じた。

投票を明日にひかえた今、それぞれ心に決めた人がいるだろう。何を、どんな事をよりどころにして選ぶか児童達の考えを聞いてみた。聞きながら児童の純真さを更に認識し、それらの考えがそのまま児童自身のえがく望ましい児童像につながるであろうという校長の言葉に、今一度児童の考えをかみしめた。

そのおもなもののいくつかを挙げてみると、美しい学校づくりをめざす人、親切味のある人、進んでもの事をやる人、ふだんからの生活態度のよい人といった点をあげている。そのほか、勇気、実行力、責任感などについても考えており、これなら公明選挙まちがいなしと明日を期待する。

投票を終わって

ぼくは、よくおせわする人をえらびました。そして、学校がよくなるように思いました。

三年　真野頼隆

立会えんぜつを聞いて学校をよくする人を自分で決めてとうひょうしました。

四年　青山智子

人間の価値、その一つを自主性主体性に求める。自分で考え、自分の力で選んだこの子等に拍手を送り、子供達の手で、すくすく伸びていく児童会を祈ろう。

津奈木小便り

部落懇談会

本校では二月五日夜から二月十日夜にかけ部落懇談会を開き部落担任、校長、教頭、PTA役員、郵便局員が部落に出向いて児童の冬休み反省、三学期の学校運営、来年への希望、部落危険箇所の確認対策、オーバーブリッジ建設請願署名、簡易保険の団体加入等について活潑な討議を行い相当な成果を挙げることが出来た。その反省調整のため二月十五日夜、PTA学校委員会を開き、簡易団体保険の実施についてはやることに決め地区委員長、委員、局員が全部落を回り三月中に終ることになった。この実現により年間二十余万円の経費が生み出され今後の学校運営に大きな期待が持たれる。

褌を引締よう

宮崎　優

夢ではすまされぬ

かげろう立ちて花の香満ち、蜂蝶が舞い交う、なごやかな豊かな平和郷。東西南北、見るも鮮かな黄金の波甘夏。乙女等のみかん摘みの歌声のリズムに乗って、若者は町の中央にあるマンモス選果場へ自家用車を走らす。車を連ねる観光客、駅から次々に甘夏列車が東京に発って行く。夢みたいな話。でも夢ですましたくない話、いや必ず実現しなければならない話。

新増植さかん

だが現実はあまりにも厳しい。桜井産振計画に従い、柑橘最適地として発足以来十数年、まさに牛歩。今にして漸く農業構造改善事業として着々工事が進められ、これにれ刺激されてか、われもわれもと、ミカンの新増植の気運が高まり各地に開園をみる、

だが道は峻し

選択的拡大のトップスターとして快走を続けるミカンも、昭和三十七年を頂点に下降傾向がはっきり現れている。

東京中央市場のキロ当り卸売総平均の動きをみると、三十五年度六十二円、三十六年度八十一円、三十七年度九十一円、三十八年度八十六円、三十九年度は八十円を大きく割り、北九州市場の卸値をみても昨年の二割近くも下回り、需要が集中する年末でも六十円と前年の八十四%にとどまった。輸出原料の場合、前年より十五円も安く平均三十五円と急落した。大半の産地が裏年であるにもかかわらず、全国八大市場への入荷量が前年を四十%も上回っている事から推定しても、予想をはるかに上回る生産量の伸びが根本原因である。生果物は特に需要と供給のバランスがくずれ、供給が一割オーバーした時、価格は数割も下落するのが常である。特に膨大な未結果樹を持つ九州は、これから結果しはじめる四、五年後には予想もつかぬ量が出回るものと考えられる。

押しまくれ

だからと云って今更引く手はない。これに何を以て対処するかが今後の重大な課題であろう。

郷土のこども

千々岩　頼母

（千代塚の郷土先徳碑と蘇峯先生）皆さん既に御承知と思いますが、千代塚の一段高いところに郷土先徳留魂碑が建っております。もと日露戦争戦没者忠魂碑のあったところです。

かって故六車村長が千代塚を改修された時忠魂碑も建てられ、毎年こゝで忠孝祭が行われ、厳粛な儀式のあといろいろの余興に打興じたことを子供心に覚えています年移り日本が大東亜戦争に負けてから何時の間にかその忠魂碑はこぼたれていました。

昭和二十七年蘇峯先生は日本国民史百巻の稿が完成しそのよろこびを郷里の祖先への報告のため墓参帰郷される事になりました。

時に先生は九十才の高令でありましたので医師及側近の人は長旅を気づかはれたそうですが先生は今度は死んでも是非行くとの強い決心なので愈々御帰郷の事になったときいています。

蘇峯先生が水俣迄来られたらきっと津奈木にも御出になると思いましたが、或る人が先生は御高令で津奈木には代理をやられると申されるので、私は半信半疑そんなことはあるまい、東京から水俣迄来られて水俣から津奈木に来られないことはあるまい、津奈木には叔父様の御墓もあるし先生や御先祖と関係の深い千代塚もある事だし、かって三代五十年の間先生の御祖先は津奈木の総庄屋もしていられたところだから！

いつか東京に行った時先生におめにかゝって「先生御帰郷の際は是非津奈木にも御出で下さい」と申しましたら先生は「おいで下さいなど私の方から行かして下さいと言いたいのです」と申されました。私はほっとしてかえりました

その後一生懸命先生の歓迎の準備にとりかゝりました。或る人から蘇峯先生にとりつかれておられるとひやかされるまでに！

（赤崎会館）

（農協赤崎支所）

三分五厘の利子

土地改良のために

二月十二日、熊本県農政部耕地二課の川上佐久係長の来町を機に津奈木土地改良区理事、監事の研修会が役場で開かれました。

斉藤理事長（町長）の司会で熱心に質疑応答が行なはれましたがその中から主なものをひろって見ますと、

1、問、土地改良区の性質と目的は

川上係長　農用地の改良、農業生産の基盤整備並びに開発を図り農業の生産性の向上に役立つことが目的であり、その為には政府が三分五厘と云う安い利子で二十五年の長期融資を行なっている。

2、問、基盤整備事業にはもっと補助金を出して貰えないか。

川上係長　補助事業は完工まで年月がかかる場合があるが、三分五厘は短年度で完工出来る、又補助残融資は六分五厘の利子であるので三割の補助金を貰った場合十五年で償還すると償還総額は大体同額に等しい。それで三分五厘の利子で融資を受けて仕事をやると云うことは三割の補助を受けたと同様の結果になり、早く仕事が出来て施設が利用出来るだけ有利であると云うことを忘れないで欲しい。

（公民館が出来上がると、一般の希望者を集めて研修会を開く予定です。）

岩崎博文君

全国大会へ

第四回熊本県農村青少年会議に岩崎博文君が選ばれて出場し「企業的果樹経営を目指して」という題で発表したのが、園芸部門で優勝し、県代表として来る三月十五日の全国大会に発表することになったことは、本人はもとより本町のためにも名誉なことである。

（赤崎青年団長）

自衛隊協力会結成

自衛隊協力会はどんな事をするのかと申しますと、自衛隊員が演習訓練あるいは災害地に派遣された時等の宿泊地、あるいは給与施設の利用の世話、地域社会を明るくする為青少年活動に対する協力要請、その他、部隊とその訓練の見学。自衛隊の広報及び募集に対する精神面の協力等であります。

先般自衛隊父兄会が誕生しましたが、このたび更に全町をあげて協力会結成の機運が高まり、去る二月二日みぞれ降る悪天候ではありましたが、午後一時から津南中学校体育館において町当局並びに田中県副議長、県事務所長、自衛隊側から加納地連本部長、第八特科副連隊長以下多数来賓御出席の下に盛大な結成式が行なわれました。

そして次の人が役員に選ばれました。

会長　斉藤亀齢、副会長　福村広人、松原兼義、理事　浜本富楽、森山勝義、福山義人、門崎善太郎、福島峯雄、千々岩頼母、岡松壮、高木信行、国武保、志崎為末、門崎初義、大園一馬、若島弥一郎、長浜一郎、丸田繁人　久村末喜　斉藤たま山崎好　監事　松本金義、釜忠彦

午後二時から音楽隊員二十数名によりおなじみの民謡等数多く演奏され引続き空手隊員による演技が盛沢山に行なわれ、午後四時半盛会裡に終了。